

第 6 回光市地産地消プラン推進会議 議事録

日 時 令和 6 年 3 月 1 2 日（火） 1 4 時～ 1 6 時
場 所 光市役所 3 階 大会議室 1 ・ 2 号
出席者 委員 2 0 人（欠席 5 人）、事務局 3 人、講師 1 人
傍聴、報道 なし

1 開会

2 議長あいさつ

今年は寒暖の差が激しく、我々農業者にとっては厳しい経営環境であった。

第 4 次光市地産地消プランについては策定を終え、実施、検証、改善へと移行する段階となった。本日は、周南公立大学より百武講師による講演をはじめ、数件の報告事項があるが、委員の皆様には、活発な議論をお願いしたい。

3 議題

（ 1 ） 第 3 次光市地産地消プランの進捗評価について

事務局より資料に基づいて説明ののち質疑意見等

● 委員

未達成の項目が多くあるが、これらについて、第 4 次プランで、改善に向けた取組を行うということで良いか。また、具体的な取組方針はあるか。

● 事務局

委員の皆さんの意見を参考に、まずは目標値に近づけていきたい。例えば、ひまわりプロジェクト等の事業検証を通じて地産地消の推進につながる取組を検討し、情報共有を図りながら取り組んでいきたい。

● 委員

資料 8 の 15 ページ「地元農林水産物を販売、提供しているお店」の「販売協力専門店（7 店舗）」について、この度（有）くにきよ園芸光店が撤退し、新たに花日和が追加された。

● 委員

掲げた目標に対して、なぜ達成できなかったのか考えることが必要。原因が分からなければ、対応策も検討できない。

例えば、資料 3 の（3）流通・販売のうち⑮地元の食材を購入している人の割合の未達成について、品質の問題や生産者の減少により店頭に並ぶ商品の種類が少ないなど、様々な原因が考えられると思う。

● 委員

資料 3 の（4）消費のうち⑳里の厨直売所の年間利用者数の進捗率が大幅なマイナスとなっているが、開設から 12 年が経過し、コロナ禍を経て来客数が年々減少している。原因は出荷物の減少による来店頻度の低下等と考えているが、近年は消費者が求めるものが変化してきているように感じる。

（2）令和 6 年度光市当初予算の概要について（農林水産関連抜粋）
事務局より資料に基づいて説明ののち質疑意見等
質疑意見等なし

（3）第 4 次光市地産地消プランに関する主要事業について
事務局より資料に基づいて説明ののち質疑意見等

● 委員

「光の海の体験プロジェクト」事業の参加費有料について、市の補助等により無料とすることはできないのか。

●事務局

令和6年度については、事業実施に係る予算を確保しているため、参加費を無料とすることもできるが、本事業を今後も継続していくために、いくらの参加費で何人の参加申し込みがあるかなどを検証することも必要と考え、有料での実施を検討したい。

●委員

「光の海の体験プロジェクト」事業について、光市の海で地引網を体験し、獲れた魚を食べるということであるが、地産地消につながる、より具体的な仕掛けが必要ではないか。

また、「光ひまわりプロジェクト」については、多くの方がひまわりを見学しに訪れると思うが、その観光客に対して消費を促す仕組みが構築できれば、さらに地産地消の促進につながると思う。

●事務局

今回は、光市で獲れる魚についての情報発信を目的の一つとして、地引網体験を主とした事業を実施することとした。今後は、漁協と連携し、創意工夫を凝らしながら取組を進めたい。

令和6年度はひまわりプロジェクトの参加者にひまわりの種を現物支給し、市民が誰でも参加できる体制を整えた。市内全域でひまわりを見ることができるよう、市としても農業者に参加を促す働きかけを行うとともに、市内各地のひまわりを見て回る過程で伊藤公資料館や里の厨等にも立ち寄れる仕組みを検討したい。

●委員

ひまわりの種を使った商品等はなにか検討されているか。

●事務局

ひまわりを活用した商品開発やひまわり油の採取など6次産

業化を最終的な目標に、令和5年度から実証実験に取り組んできた。その過程の中で、ひまわりの種を食用や油糧用に活用する場合、相当な量が必要となることや、加工場の整備の問題など様々な課題があることを踏まえ、6次産業化への取組については中長期的な視点で取り組むこととしたい。

● 委員

地引網で食べたいと思える魚が獲れるか。

● 委員

サメやエイなど食べることができない魚も獲れると思うが、子ども目線からすると生き物と触れ合うことは楽しいと感じることができると思う。光の海を体験し、興味を持ってもらうための第一歩としては良い取組と考える。

4 講演

IoTを活用した新しい農業と海洋体験ビジネスの導入について

講師：周南公立大学 経済学部 百武 仁志 講師

5 その他

事務局から今後の予定について連絡。

第4期光市地産地消プラン推進会議委員については3月16日をもって任期満了となる。委員の皆様には4月以降も引き続き、第5期光市地産地消プラン推進会議委員として、地産地消の推進にご協力をお願い申し上げます。

6 閉会